

# 東城寺と「山ノ荘」

とうじょうじ

やまのしょう

古代からのタイムカプセル、未来へ



2021年3月20日(土)～5月5日(水)  
土浦市立博物館

〒300-0043 茨城県土浦市中央一丁目15-18 (亀城公園となり) TEL 029-824-2928

【開館時間】 9:00～16:30 (見学は17:00まで)  
【休館日】 月曜日(5月3日をのぞく)  
【主催】 土浦市立博物館  
【特別協力】 国立文化財機構文化財活用センター・東京国立博物館  
【後援】 東城寺・日枝神社流鏝馬祭保存会・(一社)土浦市観光協会

博物館・展覧会情報  
はこちらから >>>>>



## 記念行事 (事前予約制、先着順・参加費無料)

### ○記念講演会

4月25日(日) 13:30～15:00

「<sup>ひと</sup>一つ物と<sup>でんぱ</sup>その伝播  
— 日吉山王祭を中心に —

講師：福原敏男氏 (武蔵大学教授)  
会場：亀城プラザ (定員50名)  
申込：4月6日(火)より電話にて

### ○館長特別講座

5月1日(土) 13:30～15:00

「常陸国における  
天台教団の展開と常陸平氏」

講師：糸賀茂男 (当館館長)  
会場：亀城プラザ (定員50名)  
申込：4月6日(火)より電話にて

### ○学芸員リレー講座

「歴史の宝庫 東城寺と山ノ荘」

①古代・中世編 3月27日(土)

②近世・近代編 4月10日(土)

①②とも10:00～12:00

講師：博物館・考古資料館・文化振興室学芸員  
会場：博物館 (定員30名)  
申込：3月9日(火)より電話にて  
どちらかのみ参加も可能

### [博物館へのアクセス]

- JR常磐線土浦駅  
西口(亀城公園口)より徒歩15分  
または西口バス乗り場④・⑤から「亀城公園前」下車徒歩1分
- つくばエクスプレス(TX)つくば駅  
つくばセンターバス乗り場⑥から「千束町」下車徒歩8分
- お車で 常磐自動車道  
土浦北ICまたは桜土浦ICから10分  
博物館駐車場(無料)をご利用ください。



【入館料】 ( )内は20名以上の団体料金。  
一般105円(75円) 小・中学生、高校生50円(30円)  
(毎週土曜日の小・中学生、高校生の入館は無料。)

一緒にご覧ください  
上高津貝塚ふるさと歴史の広場 テーマ展 土浦の遺跡26  
「発掘された土浦の歴史  
— 平成30・令和元年度遺跡調査の成果 —」  
3月20日(土)～5月5日(水)

経筒(東城寺経塚出土)  
天治元(1124)年 東京国立博物館所蔵  
Image: TMN Image Archives

新型コロナウイルス拡大防止のため企画内容の変更や  
中止の場合がございます。



東城寺経塚群 茨城県指定史跡  
茨城県土浦市東城寺地区に所在。筑波山東南麓、東城寺本堂の裏山の斜面に築かれた12基の経塚で構成される。

## 130年前、日本最初の学術調査がなされた経塚、その出土品が土浦へ里帰り

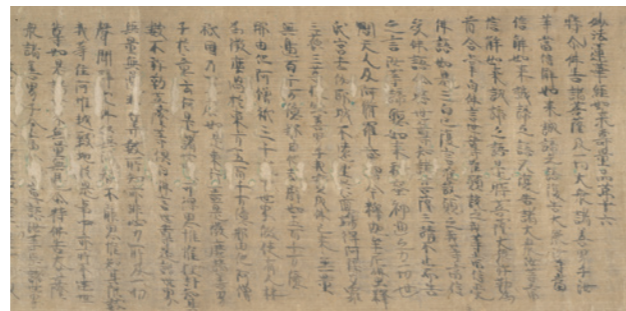
平安時代の末法思想のもと、56億7千万年後に現れる弥勒仏に供えるための経典類を埋納したのが経塚です。東城寺経塚は明治時代に発見され、考古学者の和田千吉が国内初の学術調査を行いました。経塚遺跡としては寛弘4（1007）年の藤原道長による金峯山経塚（奈良県吉野郡）が最古のもので、東城寺経塚は110年ほど後に造られました。東日本ではもっとも古い経塚のひとつで、その規模の大きさも屈指のものであります。学術的な価値の高い貴重な文化財です。



経筒（東城寺経塚）  
保安3（1122）年銘  
東京国立博物館所蔵



経筒（東城寺経塚）  
天治元（1124）年銘  
東京国立博物館所蔵



妙法蓮華経（東城寺経塚） 12世紀 東京国立博物館所蔵

## 常陸平氏・平致幹が比叡山延暦寺の僧とともに東城寺山中に経塚を築いた背景をたどる



蝶鳥鏡（東城寺経塚）  
12世紀 東京国立博物館所蔵

# 古代からの 信仰の要地、 東城寺

東城寺は筑波山東南麓の山林寺院として出発したと考えられます。寺伝によると天台宗を開いた最澄の弟子最澄によって開山され、その後、広智に引き継がれたと伝えられています。鎌倉時代には真言律宗の忍性によって東城寺の一部が律院化され、結界石が建てられました。東城寺は、古代・中世を通じて信仰上の要地であったと考えられます。



木造広智上人坐像 茨城県指定文化財  
嘉禎3（1237）年 東城寺所蔵

## 平安時代初期の開山、天台寺院としての由緒を伝える東城寺、その歴史を紹介



東城寺境内  
創建当初は裏山の「堂平」の地にあったとされる。



結界石（大界外相） 茨城県指定文化財  
建長5（1253）年 東城寺所蔵

# 経塚は56億7千万年後に 経典を伝える タイムカプセル



銅造男神立像〔銅造供養者形立像〕  
（伝東城寺経塚出土）  
土浦市指定文化財  
12世紀 東城寺所蔵



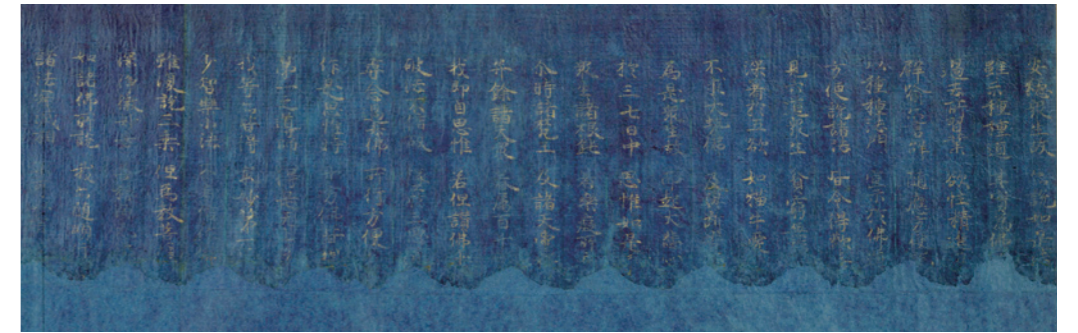
小神野從羅天  
市川将監とともに大猿を退治する。小神野家は戦国武将小田家の家臣と伝わる。

## 東城寺の「一つ物」にみる中世の風流

一つ物  
大猿への人身御供の役とされる。山鳥の羽を挿した花笠や馬にのる姿は中世の祭礼に出された稚児の姿を伝える。



## 「藤原道長」が書写した最古の埋納経が東博から特別出品！



藤原道長筆「紺紙金字法華経巻第一残欠」 国指定重要文化財  
長徳4（998）年 東京国立博物館所蔵 寛弘4年に金峯山（奈良県吉野郡）に埋納された。

## 常陸国の平安時代後期の経塚資料も一堂に



経筒  
（水戸市 神崎寺経塚）  
茨城県指定文化財  
長承2（1133）年  
神崎寺所蔵



神宮寺経塚出土品（鹿嶋市 神宮寺経塚）  
12世紀 茨城県立歴史館所蔵  
（海老原幸氏寄贈資料）

中世の東城寺とその周辺は、近江国（滋賀県）比叡山の地主神である日吉社の荘園でした。のちに「山ノ荘」と称されたこの地には、日吉神を分祀した山王社（現日枝神社）が勧請されました。現在、山ノ荘の7つの地区の祭礼として行なわれている日枝神社流鏝馬祭（茨城県指定無形民俗文化財）は、大猿退治の物語に基づいた神事としての流鏝馬です。東城寺地区から出される「一つ物」は、中世の祭礼にみられた稚児を彷彿とさせるもので、近江国日吉社の祭礼の系譜を引くと考えられます。



市川将監  
弓の名手である市川将監は、大猿を退治して山ノ荘に平穏をもたらす。

## 大猿退治の伝説に基づいた「神事」としての流鏝馬も山ノ荘の歴史を伝える「タイムカプセル」

# 中世の祭礼を伝える 山ノ荘の流鏝馬祭